

ASAPカンボジア通信

NPO法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会



多摩川コールタメイ小学校の校庭にタイヤ飛び遊具が完成！！

2013.10

■ 第18回視察訪問のご報告

長谷川 理事長…P1

■ 4度目の訪問で思う事 竹内 たえ子…P2

■ トロク、タットム小学校の様子 …P3～4

■ 多摩川コールタメイ小学校の様子

…P5～6

■ Mother to Mother 報告 …P7～8

■ キロタチュム小学校校舎工事着工…P9

■ ツアー参加者感想…P10

■ 24年度通常総会のご報告…P11～12

Vol.12

第18回視察訪問の報告

理事長 長谷川 安年

去る平成25年8月23日～31日、第18回視察支援ツアーを理事3名他16名総勢19名で実施いたしました。今回は昨年8月に開校した「多摩川コールタメイ小学校」にタイヤ飛び遊具を設置する為、先ずは高校生3名を含む学生グループ10名が23日に現地に入り、26日に後発隊が出発するという、今までにない日程になりましたが、お蔭さまで無事終了いたしました。

視察内容の詳しくはこのカンボジア通信でお伝えいたしますが、今回、カンボジアが抱える問題を肌で感じるいくつかの事件がございました。

今回の訪問を控えた6月、現地から「コールタメイ小学校のマカラ先生が、事故で意識不明の重態」という恐ろしい連絡が入りました。皆で費用を集めたが、脳の検査「MRI」はカンボジアではとてつもなく高い費用なので受けられないとの相談に、ASAPとして理事会を開くなど言ってもらえませんので、私個人で1000ドルの治療費を支援すると約束しました。その後意識回復の連絡が入り、命を助ける事が出来た

と胸をなでおろしました。今回のコールタメイ訪問時には元気な姿を見せてくれ、氷で冷えたドラゴンフルーツで歓迎という「サプライズ」を大変嬉しく思いました。(冷蔵庫がないので冷えたものは貴重なのです)

2つ目は、キロタチュム小学校の校長先生が交通事故で亡くなるという悲しい出来事です。新校舎の完成を誰よりも待ち望んでいらしたので胸が痛みます。信号がほとんどなく、車やバイクが無秩序に走り、免許制度も機能していないカンボジアは、この様に事故と隣り合わせなのです。

3つ目の事件は帰国当日に起きました。細谷理事がひどい下痢と発熱の為入院してしまっただけです。何度も支援ツアーに同行され「食べ物に気をつける」と良く分かっている理事が、です。幸いなことに一緒に帰国することが出来ましたが、交通事故といい、食あたりといい、まだまだ「日本では考えられない程の危ない環境」であること、そして訪問には保険が欠かせないことを再認識させられた3つの出来事でした。

ASAPでは、今回より万が一の為に参加者全員「同じ保険」に入らせて頂いています。

第19回支援ツアーは1月24日～28日で予定しています。今回は寄贈6校舎目となるキロタチュム小学校校舎落成式を行います。あきる野市より直行バスを出す予定でありますので、カンボジア世界遺産アンコールワット観光&支援ツアーにぜひご参加下さい。



重量制限ぎりぎりの大量の「布」を運んで到着！

ブログにツアーの様子を載せていますのでぜひご覧下さい

4度目の訪問で思うこと

竹内 たえ子

ASAPの支援活動のお手伝いをさせて頂き、今回4度目のカンボジア訪問に参加致しました。

シェムリアップの街中は夜も明るくなり、以前に比べゴミもあまり見当たらず、観光の拠点としても発展を続けていると感じました。

タットム、トロク、両小学校は5年前私が初めて訪問した時より、確実に支援の結果が実を結んでいることを強く感じました。校舎を建てるだけでなく、継続しての支援が如何に大切かを痛感いたしました。

子供達を含め、双方の信頼関係が深まっていることもとても嬉しく思いました。又 Mother to Mother の根気の要る支援に依って、タットム校の卒業生が全員中学に進学と伺い Mother to Mother の支援活動の重みを感じました。

一方 昨年校舎が建ちあがったコールタメイはタットム、トロクと比べ、言葉にならない程まだまだ貧しい村です。

裸足でスッポンポンの子供がいくらでもいます。次回訪問が叶いましたら、私はせめてパンツだけでも穿かせてあげたいと思います。

今回コールタメイ小の職員宿舎に一泊する機会を頂きました。

熱心な校長先生はじめ、2人の若い先生や村の人が私達4人のお世話をしてくださいました。

懐中電灯の灯りの中で、未来の夢や希望又改善すべき点等ゆっくり話し合え多くの収穫がありました。放し飼いの鶏の夕食、ちょっと怯んだ4人でしたが美味しく完食してしまいました。

そして感激！コールタメイで久しく見えない蛍が飛び交うのを見ました。こんな自然の中で育つ子供達の澄んだ瞳もうなずけます。

訪問する度にあれもこれもと思い気が焦りますが、一歩ずつ進んで行くしかありません ASAP 支援の皆様と共に、今の自分の出来ることを続けて行きたいです。



雨に濡れながらのプレアヴィヒア遺跡観光

トロク、タットム小学校の様子

支援を始めて7年。先生達に積極性が現れ、学校の様子に支援の成果が見てとれる様になり、他の学校との違いを感じます。いい学校になってきました！嬉しいですね

ビッグニュース！！とうとう卒業生が…！！（タットム小）

ASAP 年が支援を始めてから早くも7年が経ちました。なんと**当時の生徒が先生になって学校に戻ってくる！！**という素晴らしいニュースが飛び込みました。

先生不足の現実、「いつか卒業生が先生になって戻ってきたら嬉しいね」と、夢のように語っていたことが実現するなんて！それもこんなに早くに！何と嬉しいことでしょうか。

貧給の先生をバックアップし、教育現場の質向上に力を注いできたその成果です。残念ながら『ご対面』は次回のお楽しみとなりましたが、**支援者の皆さんと乾杯したい気分です！**

卒業生全員が中学校へ（タットム小）

今年のタットム校の卒業生が全員中学校に進学することがわかりました。100%の進学率になぜそんなに高いのかを聞いたところ、ASAP の活動当初から通訳を担当してくださっているシンホンさんが、通訳をしながら「なんだか涙がでてきてしまいますね…マザーの活動ですよ！」といます。にわかには信じがたかったのですが事実だといえます。

小さなコップ袋から始まったマザーの活動がこうして実を結ぶとは、本当に嬉しいことです。日本でボランティア活動を支えてくれている多くの**マザー**、製品を購入してくれている**マザー**、カンボジアの**マザー**がいてこそその成果です。皆さん本当にありがとうございます。

日本語習得大作戦開始！（トロク、タットム小）

支援活動を始めて7年。一番もどかしいのは、言葉が通じない事です。学校の先生たちも悔しいといえます。だったら日本語を勉強してもらおう！！先生たちとASAPとの信頼関係が確立されている今なら不可能ではありません。

- ① 日本語能力が一定に達したら日本に招き3か月～半年研修
- ② 帰国後はマザーの連絡や、村の子ども達に日本語を教えるという企画を立て**Go!Go!**

嬉しいことに、ASAP がとても信頼している通訳のタラさんが村に出張授業に行ってくれることになり9月からすでにレッスンが始まっています。いつかカンボジアから日本に先生がやって来る！こんな日が来ることを願います。



先生となるタラさん

第2回ドッジボール大会

昨年夏に続き タットム対トロク小学校対抗ドッジボール大会を開きました。

今年は「ラジオ体操」も取り入れ、5試合を行った結果トロク小学校の勝利！

試合が大変盛り上がったのですが、「先生たちが傍観者になっている」ことがとても気になりました。ドッジボール大会を開くのは先生たちに運動の指導を学校に取り入れてほしいからでもあります。なぜなのかを先生たちに尋ね気づきました。先生たちは「やらない」のではなくて、体育の授業や指導法を受ける機会なく先生になっている為、**体育（運動）の先生がどのように子ども達とかかわるのか「知らなかった」**ことを。「子ども達と一緒に楽しむ姿勢」を伝えると大きく頷いていました。次回はきっと一緒に参加してくれることでしょう。



サボテンや鉄線ですぐに潰れてしまうボール…。そこでアメリカから割れないボールを取り寄せ持参しました！

→
われないのです！
ナイフで刺しても



順調に行われている絵画の授業

11号でお伝えしましたが、シムリアップで無料の絵画教室を開いている笠原先生による絵画指導がタットム、トロクで1~2ヶ月に一度行われています。現場の先生達が指導できないという国で、教えに来て頂けることに本当に感謝です。両校の1年生が描いた「お友達の顔」。びのびと表現された絵は感動的です。



初めての絵の具。
「友達の顔」です

多摩川コールドタメイ小学校のから

タイヤ運動遊具ついに完成！（表紙写真）

「勉強だけの学校が楽しくなるように何か運動遊具があったらいい」という村人の要望に応えたタイヤ飛び遊具設置を行いました。埋めたタイヤは30個。さあ作業にかかろう、というときに「シャベルがない！」というハプニングもありましたが、村から鍬を集め、2日間に渡って無事完成しました。カラフルな遊具の登場で、学校がぐっと素敵になりました。

タイヤの上をピョンピョン飛んだり、日本の学生たちと一緒にタイヤを使ったゲームで大盛り上がり！村の子どもたちの集まる学校になること間違いなしと確信！

参加の皆さん、本当にありがとうございました。



洗って！

掘って！



塗って！



ドラゴンフルーツ大作戦

学校と村の自立支援活動の一環として、ドラゴンフルーツ栽培を通して資金を得る道を模索しています。2月訪問時に購入した苗は右の様に育っていました。早ければあと半年で収穫できるそうです。

どうか順調に進んでほしいと願うばかりです。



宿泊体験

「学校の宿舎に泊まろう！」の呼びかけに13人が参加。2日に分けて宿泊しました。

「雨季はカエルを狙った**コブラ**が出るので夜は出ないほうがいい」と聞き、夜の村訪問は中止になりましたが、校庭には蛍が舞い、先生達との交流など貴重な時間を過ごす事ができました。宿泊費用は学校運営費として活用されます。

コールタメイ村の様子

ルムチェック村の子どもが一応みな服を着ているのに比べ、コールタメイ村ではパンツもはかない裸の子どもが目につきます。夕方、学校の近隣部落で4人の子どもと若い母親に遭遇。小さい子ども二人はパンツもはかずスッポンポン…。夕食と思われる食べ物は小さなカステラを一切れとコップ一杯の飲物…。9歳という男の子は日本ではどう見ても6歳程にしか見えません。栄養不足で大きくなれないのは明らかでした。食べるのが精いっぱい洋服にまでお金が回らないのでしょうか。家は小さな茅葺のもので、屋根の半分は壊れてビニールがかぶっているだけでした。スコールなどに耐えられる建物でないことは一目瞭然でした。

カンボジアの都市部はビルが増え確実に発展し物価も高くなっています。しかし村の貧困層の依然として大変貧しいことに変わりはなく、かえって格差が開いているように思いました。同じ今を生きているというのに、私たちの生活とのこの差は为什么呢。貧困のサイクルから抜け出すのは容易ではないでしょう。古着をあげるよりも、服を買える力をとと思いますが、せめてあの裸んぼの子どもたちに服を着せてあげたいという思いが募ります。

次回訪問時には、部落を一軒一軒回って服を渡す…そんな計画が今進行中です。

ご一緒しませんか？



Mother to Mother 活動報告

前年比100%販売量アップ！
支援の皆様、園長先生方、本当にありがとうございました

「今の日本には、絶対に必要としているお母さんがいる」と信じ、保育園や幼稚園にご協力をお願いにまわった結果、**一昨年 20 園だったご協力園を 30 園に増やすことができ、なんと前年度に比べて約 2 倍の販売額（約 190 万円）を達成する事ができました。**

販売量が増えたおかげで、この 1 年は 23 人のお母さんたちに平均 20,000 円の報酬を支払うことが出来ました。

保育園や幼稚園の園長先生方、本当にありがとうございました。「お母さんたちが助かると、喜んでいましたよ」という言葉がどんなに励ましになっていることか。

小さなコップ袋から始まり、大きな初期投資や現地職員も置かずには始まった小さな支援活動が、こんなにしっかりと根付き効果を発揮しているのは、本当にすごいです！皆さんのお蔭です！

Mother to Mother の活動の安定には、**現在日本国内でボランティアの方々に頼って行っている作業をいかにカンボジアに移行していくか、**が大きな課題です。

そのために、現在 2 大プロジェクトが進んでいます。



1. 日本語習得大作戦

日本語も、英語も通じない中、イラストや写真でここまで出来たことは奇跡のようですが、この先の活動の安定の為に、「日本語習得大作戦！」スタート！（詳細は3ページをご覧ください）

2. 作業所建築プロジェクト

現在日本で行っている布の裁断を現地に移すには大きな作業台を備えた作業場が必要です。作業台を置ける空間を備えた作業所を建てる計画が進んでいます。作業場は、ただの作業場にとどまりません。

- ★ 村で貧困で教育を諦めている家庭への**仕事斡旋場**としての役割
- ★ 夜は日本語教室を開き、**村の若者の仕事への道を切り開く**
- ★ 衛生的なトイレ、手洗い場、綺麗な台所等を備えたモデル的な空間にし、**集まるお母さんたちを通して村に広める**役割を担う



そう簡単ではありませんが、未長く Mother to Mother 活動が安定して続くように、「なせば成る」と信じ進んでいきます。どうぞ一緒に応援お願いします！！

第 6 校目、 キヨタチュム小学校校舎建築着工！！

2年前から要望のあった「キヨタチュム小学校校舎」の工事に9月着工いたしました。現在227名の在席数ですが、あるのは1教室のみ。（他2部屋は職員室と図書室に使用）新校舎を必要最低限の2教室にするか（2部制で使用）将来を見越して5教室にするか検討しましたが、過去2部制授業を前提に校舎を寄贈してきた現場から、子どもが増えて教室が足りなくなっているという声が届いているその現状から、子どもの数が多いこの村には5教室を寄贈することに決定しました。校舎が建てば遠くに通っている生徒が集まり人数が増え、ドロップアウトする子どもも少なくなるという事です。次回訪問時に落成式が行われる予定です。



ありがとうございました

- あきる野ロータリークラブより創立40周年記念事業として50万円のご寄附を頂きました。大きな支えとなります。感謝を申し上げます
- （株）桃源堂様より絵の具（株）ことぶき様よりペンキのご寄付を頂きました。

理事改選のご報告

理事の改選が承認されましたので、ここにご報告をさせていただきます。
住本典之氏が理事を退任し、相談役に就任し支えていただくことになりました。
新たに竹内たえ子氏、小島徳太郎氏が理事に新任致しました。

参加の学生の皆さんから感想を頂きました

平野 航さん（首都大学東京 3 年）

私は元々、国際開発の分野には興味があったので、「是非、カンボジアの今を見たい」と思い、学生グループとしてこのツアーに参加させてもらいました。今回はシェムリアップから車を 1 時間以上走らせた農村地域の小学校を訪ねて、子どもたちと交流したというのが活動のメインでした。私自身、俗に“途上国”と呼ばれる国を訪問するのは初めてだったので、思うことは沢山ありました。

帰国してから一番考えたことは、「平和」についてです。カンボジアでの内戦を経験した人は、たとえ貧しくても内戦がない今の国内状況が幸せ、そして平和だと感じるかもしれないし、内戦を経験していないカンボジアの今の子どもたちは、親の仕事の手伝いを毎日しながらも、学校でみんなと勉強したり、遊ぶことが最も幸せに感じることもなかもかもしれません。しかし、日本ではこれほどまでに経済的幸福で満たされているにもかかわらず、精神的幸福を感じる人はそれほど多くないのも事実ではないでしょうか。そういった意味でも、改めて、『世界全体としての「平和」を実現するにはどうすればいいのか』ということを考えさせられた 9 日間になりました。

山口 馨子さん（樹徳高等学校 1 年生）

私は、今回初めてのカンボジアということで最初は少し不安でしたが、始まってみるとあっという間で、沢山のことを目で耳で肌で感じ、たいへん貴重な体験をすることができました

今回のツアーで何度も目にした小学校へ向かう途中バスの中から見えた景色。それは都会を少しはずれると見えてくるジャングルのように生い茂った木々、その中にまぎれている牛……。現在の日本では目にするのでできない光景でした。

特に私が今回一番心に残ったのはなんといっても子どもたちの笑顔でした。子どもたちのきれいな瞳、可愛らしい笑顔や笑い声は言葉に表すのでできないほど美しく輝かしいもので、一緒にいるだけで自分でも驚いてしまうほど私もつられて笑っていました。

カンボジアツアーを終えた今もふと先生方や子どもたちのことを考えてしまう今日この頃です。今頃みんな何してるのかな？このご飯みんなに食べさせてあげたいな！この音楽聴かせてあげたいな！そんなことを考えるときがとても幸せに感じられます。そんな私の今の目標は来年も ASAP 支援ツアーに参加することです。そのために今私ができることは、当たり前のことにも感謝の心を持ち、子どもたちに負けなよう、日々勉学に励むことです。

今回カンボジアで出会ったすべての方々、私の両親、そしてなんといっても ASAP の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。みなさん、オークン（ありがとう）！

山口さん（一番左）



平野さん



平成25年度 通常総会のご報告

去る9月17日に多摩川幼稚園にて平成25年度の通常総会が開催され、平成24年度事業報告、収支決算、平成25年度事業計画、収支予算が承認されましたので概要をご報告させていただきます。

ご支援頂きました沢山の方々に心より御礼を申し上げます。有難うございました。

1 24年度 事業報告(事業の成果)

- ◇ 平成24年度は、8月にコールタメイ村に第5校舎目となる4教室の多摩川コールタメイ小学校及びスーパー井戸の寄贈、及び、トロク小学校屋根の雨漏り工事を実施した。
- ◇ トロク小学校、タットム小学校及び新たな多摩川コールタメイ小学校に対し学校運営支援金及び教員給与の補助を通し人材の確保と教育の質的向上を促した。
- ◇ 学齢児童および家庭に対して、引き続き新入生への制服支給と「手作り卒業アルバム」の寄贈「Mother to Mother 事業」等啓発事業を継続し就学率の向上を図った。
- ◇ 「Mother to Mother 事業」については前年度より約100%売り上げ増となり、村の小学卒業生が全員中学に進学という喜ばしい結果につながった
- ◇ 上記事業の遂行及びこれにかかる調査・評価のため、24年8月、25年1月の計2回支援ツアーを実施し交流支援を行った。
- ◇ 「カンボジア通信 vol.10・11」の発行、ホームページ、及びブログの充実、あきる野ロータリークラブ及び啓明学園で教育事情についての講演を行うなど国内の支援基盤の充実を図った。
- ◇ 「認定NPO」への申請は問題個所の改正に努め3年後に再度申請をすることとする。
- ◇ (株)ラッシュジャパンから130万円、あきる野ロータリークラブより50万円の寄付を頂いた。

2 平成24年度 収支決算(概要) (平成24年7月1日～25年6月30日)

(単位:円)

I 経常収入の部	III その他資金収入の部	0
1 会費収入 968,000	IV その他資金支出の部	0
2 寄付金収入 3,943,614		
3 売上 1,839,760		
4 民間助成金収入 1,300,000		
4 その他の収入(利息、為替差) 45,986		
経常収入合計 8,097,360		
II 経常支出の部		
1 事業費 4,185,584	当期収支差額	2,709,892
(1)教育機関運営支援 2,376,039	前期繰越収支差額	4,253,655
(2)就学困難家庭支援 1,474,268	次期繰越収支差額	6,963,547
(3)広報・啓発・調査・連絡調整 228,762		
(4)現地事務所運営 106,515		
2 管理費(パート代金含む) 1,201,884		
経常支出合計 5,387,468		
経常収支差額 2,709,892		

3 平成25年度 事業計画(事業の実施方針)

- ◇ 引き続きトロク小学校、タットム小学校、コールタメイ小学校に対し、学校運営の支援及び教員給与の補助により人材の確保と教育の質的向上を促す。多摩川コールタメイ小へは支援が先走ることのないように現状を把握して学校運営に必要な支援を行なう。
- ◇ 学齢児童及び家庭に対しては引き続き、新入生への制服、文具支給と卒業生への「卒業写真」の寄贈、「Mother to Mother 事業」等児童・保護者への啓発事業を継続し就学率の向上を図る。
- ◇ 「Mother to Mother 事業」については、日本国内の販売の拡大・安定を図ると共に、現地作業所設立を視野に現地調査を進める。
- ◇ キロタチュム小学校の5教室の校舎建築に9月着工する。
- ◇ 日本語教師をルムチェック村に派遣し、先生6人への日本語学習を始める。
- ◇ ツアー参加者による国際交流、支援活動を引き続き行う
- ◇ 広報誌の発行、ホームページおよびブログの充実による広報・支援ツアーの実施等啓発事業を継続し、支援の効率性を高め、国内の支援基盤を強化する。

4 平成25年度収支予算(概要) (平成25年7月1日～26年6月30日)

(単位:円)

I 経常収入の部		IIIその他資金収入の部	0
1会費収入	900,000	IVその他資金支出の部	0
2寄付金収入(助成金含む)	3,000,000		
3売上	1,600,000		
3その他の収入	10,500		
経常収入合計	5,510,500		
II経常支出の部			
1 事業費	8,954,000	当期収支差額	-3,933,500
(1)教育機関運営支援	6,860,000	前期繰越収支差額	<u>6,963,547</u>
*校舎建築費を含む		次期繰越収支差額	<u>2,980,047</u>
(2)就学困難家庭支援	1,420,000		
(3)日本語学習支援	384,000		
(4)広報・啓発・調査・連絡調整	270,000		
(5)現地事務所運営	20,000		
2 管理費	540,000		
経常支出合計	9,494,000		
経常収支差額	-3,983,500		

．．．． 編集後記 ．．．．

有難いことに、何度もASAPの支援ツアーに参加して下さる方が増えてきました。
いろいろなカンボジアの魅力を…と思い、今回は思い切ってシェムリアップから車で4時間のタイ
国境にある「プレアヴィヒア遺跡」まで足を延ばしてきました。
朝の6時にホテル出発、戻るのが夜の8時、おまけに豪雨！という強行軍となりましたが、想像以
上の素晴らしい遺跡と絶景に、行った甲斐があったと皆さん絶賛。
カンボジアにはたくさんの魅力があります。皆さんもぜひいかがですか？ (編集 大沼陽子)

支援金寄付について

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い
致します。 * 正会員… 年 20,000 円

* 賛助会員… 毎月 1,000 円 (年額 12,000 円)

* その他支援金… 金額を問わず随時受け付けております



■ 郵便振替口座 00130-2-594647

『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■ 西武信用金庫 秋川支店 033

普通口座 1292601

口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会
理事長 長谷川 安年 (ハセガワ ヤストシ)』

***注 同封の振込み用紙は振り込み料がかかりません。ご記入の上ご利用下さい**

あきる野多摩川学園カンボジア通信

ASAP 会報 Vol.12 2013.10

■ 発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会
(省略 “ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 430 番地

TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)

FAX 042-550-2467

メールアドレス asap@tamagawa-kids.jp

ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/asa>